

「石巻市」の新たな船出

平成17年4月1日、石巻市、河北町、雄勝町、河南町、桃生町、北上町、牡鹿町の1市6町が合併し、新たな「石巻市」として船出します。



石巻市長職務執行者(前雄勝町長)

山下 壽郎

石巻地域1市6町の合併によって、人口17万人余りの新たな石巻市が誕生いたしました。新市は、水や緑などの豊かな自然環境、あるいは固有の歴史や文化に育まれたすばらしい地域であります。

また、人口規模やバランスよく配された産業構造などからも、県北東部における拠点都市という役割も担っていくこととなります。

今回の合併は、新しい市を創っていく「新設合併」方式を採っていることから、新しい市長、議会議員は選挙で選ばれるまで、不在という状態での船出となります。

私は、合併協議の場において、新市の市長が誕生するまでの間、市長の職務執行者という重責を仰せつかったところでございますが、大変重要な職務を担いますことから、身の引き締まる思いをしております。

職務を執行する期間は、短い期間ではありますが、住民サービスが滞ることのないよう、円滑に新市長に職務を引き継げるよう、全力を尽くす所存でありますので、市民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

新しい石巻市に 期待します！

新「石巻市」の誕生にあたり、市内各地域の方々から、新しいまちづくりに対する期待の声を寄せていただきました。



高橋由美さん
(蛇田)

子どもからお年寄りまで安心して暮らせるように、豊かな自然を守り、豊かな心を育てていくことが大切だと思います。まちが広がるとともに、夢や可能性も広がっていくよう期待します。また、市民一人ひとりも意識を高く持ち、知恵を出し合い行動していくことが大切だと思います。行政には、市民の声を反映していただくとともに、安心して暮らせるよう財政難も早く克服していただきたいです。

高度経済成長の時代は終わりを告げ、新しい時代を迎えようとしています。これからは、新しい石巻市として、各地域の特色を生かした、地場産業の発展と観光に力を入れていただきたいと思っています。また、市民と行政の交流の場を増やし、市民の声が反映されるまちづくりをしていただけることを期待しています。



今野啓哉さん
(小船越)

待ち望んだ新市の誕生。多少の不安や戸惑いはありますが、1市6町の住民が新しい市民として目指す方向は同じなのだから、ゆっくりでも確実なまちづくりを望みます。一市民として、行政から何かをしてもらうのではなく、その立場、立場で自分は市民として新しい市のために何ができるかを考え、行動していけたら良いと考えます。「だれかがやってくれるだろう」「何とかなるだろう」ではなくて、市民がまちづくりの担い手となる協働のまちづくりに向かって、まず一歩を！



千葉健子さん
(雄勝町大浜)



橋浦義博さん
(須江)

合併前の市や町は、地域の特色ある資源を生かして地場産業の発展に努めてきました。こうした取り組みは、産業に留まらず、地域のコミュニティづくりにも役立ってきました。広範囲な行政区域となる新市には、周辺部の生産者の声にも耳を傾けながら、個々の特色をさらに伸ばし、均衡ある発展につながる施策を講じてほしいものです。豊かな食(安全安心)や住み良い環境といった石巻の魅力を生かせば、活気のあるまちができると思います。



成澤章浩さん
(桃生町寺崎)

もう少しで町内のインターチェンジが開通し、市内中心部との時間的な距離が近くなります。地域のお祭りなどを新市全体で広く活用し、多くの方々に集まっていたことが地域の発展につながるのではないのでしょうか。十分な住民サービスがすべての地域に行き届くのかという不安はありますが、新市全体で盛り上がっていければいいですね。

今までのように、良い環境に恵まれ、子どもたちが安全に生活できる地域であってほしいと思っています。市になることで、中心部の活動が多くなるだけでなく、各地域でも特性を生かした楽しめるイベントや大会を開催してほしいですね。合併したことにより、地域や町民に少しずつでも良い面が現れてくることを期待しています。



小松豊実さん
(北上町十三浜)

牡鹿町で生まれ育ち、26年の年月が過ぎ、今では2児の父親となりました。子どもを持つ親として新「石巻市」に期待することは、子どもたちがあらゆる“夢”や“可能性”に向かってチャレンジできる環境が育つことです。子どもたちが、自分自身の持っている無限の可能性を信じて、まっすぐ歩んでいけるような、そんな「石巻市」になってほしいと思います。



木村隆之さん
(小湊浜)